

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立城陽高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	第1学年 276名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 ( )</p> <p>②行事名(オリンピックパラリンピック推進事業)</p> <p>③その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック東京大会についての興味関心を高める</li> <li>・在日問題の狭間でたたかいながらアスリートとして活躍している人から勇気をもらう</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) 事前学習 1月29日 3時間目 安昌林 選手の紹介DVDを視聴 講演者について理解を深める</p> <p>(2) 講演会 2月3日 4時間目 「国境を越えて金メダルを」 安昌林(アンチャンリム)選手  韓国からのリモート講演</p>
	
	安昌林選手とリモートの画面でつないでいる様子



講演を聴いている生徒の様子



講演を聴いている生徒の様子



講演を聴いている生徒の様子



安昌林選手に質問をする生徒の様子



生徒からの質問に答えてくださっている場面の様子

講演会の内容としては、安昌林選手の生い立ちやオリンピックへの思いなどを話していただいた。

安昌林選手は、在日3世として日本で生まれ育ち、今は韓国の代表として東京五輪で金メダルの獲得を目指す柔道家である。幼少期・青年期を在日韓国人として日本で過ごした中で感じたこと、日本と韓国の柔道への向き合い方の違い、安昌林選手が在日3世の韓国代表だからこそ抱く東京オリンピックへの思いなどが主な内容であった。生徒たちは、柔道世界選手権のチャンピオンのお話ということもあり事前学習の際から、楽しみにしており、当日も熱心に話を聴いていた。また、質疑応答にも丁寧に答えていただき、スポーツ選手がどのようなことを感じながら日々過ごしているのかや、日本と韓国の文化の違いなどについても理解を深めている様子であった。

6主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安昌林選手の小中学校時代の生い立ちを聞くことを通して、在日韓国人の子どもたちの思いを少しだけではあれ、知ることができた。</li> <li>・スポーツの中にも、実は国籍の壁があることを知ることができた。</li> <li>・安昌林選手のおじいさんの話を通して、安選手自身の民族への思いにふれることができた。</li> <li>・柔道を通してさまざまな国の人と出会うことができ、国境の壁を越えることも可能であることを知ることができた。</li> </ul>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>韓国からのリモート講演を行った。</p> <p>本校においては電子黒板を利用し、生徒は各 HR 教室で講演を聴いた。</p> <p>双方向の受け答えも可能で質疑応答などもスムーズに行うことができた。</p>
8主な課題等	<p>リモート講演のため、選手との交流ができなかった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>内容について検討中</p>